

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 17 年 7 月 21 日 (2005.7.21)

【公表番号】特表 2002-523260 (P2002-523260A)

【公表日】平成 14 年 7 月 30 日 (2002.7.30)

【出願番号】特願 2000-566331 (P2000-566331)

【国際特許分類第 7 版】

B 2 9 C 41/04

B 2 9 B 7/02

C 0 8 J 3/12

C 0 8 J 3/22

C 0 8 J 5/00

C 0 8 K 5/3435

C 0 8 L 23/00

// B 2 9 K 23:00

【F I】

B 2 9 C 41/04

B 2 9 B 7/02

C 0 8 J 3/12 C E S A

C 0 8 J 3/22

C 0 8 J 5/00

C 0 8 K 5/3435

C 0 8 L 23/00

B 2 9 K 23:00

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 10 月 16 日 (2003.10.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

成形されたポリマー物品を製造する方法において、UV 安定剤を加えられたポリマー粒子と UV 安定剤を加えられていないポリオレフィンポリマー粒子との混合物を含む 1 ~ 2000  $\mu\text{m}$  の平均粒子寸法を有する成形用ポリマー粉末を得ること、型中に該粉末を充填すること、該型を加熱及び回転して該粉末を溶融すること、該型を冷却すること、及び該型から該成形されたポリマー物品を取り外すことを含む方法であって、該 UV 安定剤を加えられた粒子と UV 安定剤を加えられていない粒子が 0.5 : 99.5 ~ 1 : 10 の重量比で存在し、かつ該 UV 安定剤を加えられたポリマー粒子が -オレフィンのホモポリマーまたはコポリマーから成るところの方法。

【請求項 2】

該粉末が、100 ~ 500  $\mu\text{m}$  の平均粒子寸法を有するところの請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

該粉末が、300 ~ 500  $\text{kg} / \text{m}^3$  の嵩密度を有するところの請求項 1 又は 2 記載の方法。

【請求項 4】

該 UV 安定剤が、少なくとも一つのアザシクロヘキシル基を含むヒンダード高分子アミ

ンであるところの請求項 1 ~ 3 のいずれか一つに記載の方法。

【請求項 5】

該 UV 安定剤を加えられた粒子が、5 ~ 15 重量 % の UV 安定剤を含むところの請求項 1 ~ 4 のいずれか一つに記載の方法。

【請求項 6】

UV 安定剤を加えられたポリマー粒子と UV 安定剤を加えられていないポリオレフィンポリマー粒子との混合物を含む 1 ~ 2000  $\mu\text{m}$  の平均粒子寸法を有する、回転成形のための成形用ポリマー粉末であって、該 UV 安定剤を加えられた粒子と UV 安定剤を加えられていない粒子が 0.5 : 99.5 ~ 1 : 10 の重量比で存在し、かつ該 UV 安定剤を加えられたポリマー粒子が -オレフィンのホモポリマーまたはコポリマーから成るところの粉末。

【請求項 7】

請求項 6 記載の粉末であって、請求項 2 ~ 5 のいずれか一つに記載された粉末。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 5 のいずれか一つに記載の方法により製造される成形されたポリマー物品。

【請求項 9】

回転成形のための成形用ポリマー粉末を製造する方法であって、(i) 1 ~ 2000  $\mu\text{m}$  の平均粒子寸法を有する、複数のポリオレフィンポリマー粒子を得ること；(ii) -オレフィンのホモポリマーまたはコポリマーから成る第二のポリマーを得ること；(iii) UV 安定剤と該第二のポリマーとを緊密に混合して、UV 安定剤を加えられた複数のポリマー粒子を製造すること；及び (iv) 段階 (i) において得られたポリマー粒子と、段階 (iii) において得られた UV 安定剤を加えられたポリマー粒子とを混合することを含み、該 UV 安定剤を加えられた粒子と UV 安定剤を加えられていない粒子が 0.5 : 99.5 ~ 1 : 10 の重量比で存在するところの方法。

【請求項 10】

回転成形のための成形用粉末を製造する方法において、該方法は機械的に流動化される流動床ミキサー中で、1 ~ 2000  $\mu\text{m}$  の平均粒子寸法を有する攪拌され、加熱されたポリマー粒子上に加熱された液状安定剤組成物をスプレーすることを含み、該ポリマー粒子が、UV 安定剤を加えられた -オレフィンホモ-またはコポリマー粒子と UV 安定剤を加えられていないポリオレフィンポリマー粒子との混合物を含み、該 UV 安定剤を加えられた粒子と UV 安定剤を加えられていない粒子が 0.5 : 99.5 ~ 1 : 10 の重量比で存在するところの方法。